

学習指導要領		都立竹台高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察</p>	<p>世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 地球儀や地図からとらえる現代世界</p> <p>地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けさせるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結び付きなどについてとらえさせる。</p>	<p>[位置、方位、時差]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図を活用して、東京の対蹠点の位置を理解する。陸半球・水半球について理解する。 時差の存在とその必要性を理解し、簡単な時差の計算ができる。 <p>[地球儀、世界地図]</p> <ul style="list-style-type: none"> 正角図法、正積図法、正距方位図などの図法の特徴を理解し、用途に応じて適切な図法を使用することができる。 <p>[日本の位置と領域]</p> <ul style="list-style-type: none"> 国境には自然的国境や人為的国境があることを理解する。また、我が国が当面する領土をめぐる問題や経済水域の問題について、理解する。 <p>[国家間の結び付き]</p> <ul style="list-style-type: none"> 国家間の結び付きや貿易について、主題図を活用して国際連合やEU、ASEAN、OPEC、WTOなど主要な組織とその役割を知る。資源ナショナリズムについて理解する。 <p>[自然環境と人間生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> 狭まるプレート境界に地震や火山が多いことを、その構造とともに理解する。 世界や日本の主な地形について、その成因や人間生活との関わりを説明できる。 大気の大循環の仕組みを説明できるとともに、ケッペンの気候区分の分布と特色、人々の生活について理解する。また、雨温図、ハイサーグラフなどからケッペンの気候区を判別できる。

	学習指導要領	都立竹台高校 学カスタンダード
	<p>イ 世界の生活・文化の多様性 世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けてとらえ、その多様性について理解させるとともに、異文化を理解し尊重することの重要性について考察させる。</p> <p>ウ 地球的課題の地理的考察 環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題を地球的及び地域の視野からとらえ、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解させ、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察させる。</p>	<p>[宗教、民族と人間生活] ・三大世界宗教について、その分布を大観し理解するとともに、その他のいくつかの宗教を知る。また、宗教と日常生活のかかわりについて理解するとともに、世界の主な言語や民族の分布を大観し知る。</p> <p>[世界の諸地域の生活・文化と多様性] ・世界の諸地域の生活・文化について、諸資料を活用して、地形、気候をとらえるとともに、歴史的背景を踏まえて宗教、民族、農業、工業、商業、貿易、日本とのつながりなどと関連付けてとらえ、世界の多様性について理解する。また、異文化を理解し尊重することの重要性について理解する。</p> <p>[地球的課題と解決に向けた取組] ・環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、居住・都市問題など地球的課題が多く存在することを ・地球的課題は、同じ原因であっても、地域によって現れ方が異なることを知る。</p>

学習指導要領		都立竹台高校 学カスタンダード
<p>(2) 生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 日常生活と結び付いた地図 身の回りにある様々な地図の収集や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>イ 自然環境と防災 我が国の自然環境の特色と自然災害とのかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる。</p> <p>ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査 生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>[身の回りにある地図の収集と地形図の読図]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街図、道路地図、観光案内図などの身の回りにある様々な地図の特徴を説明し、用途に応じて適切な地図を活用することができる。 地形図において、縮尺を用いて実際の距離や等高線から任意の地点間の標高差を求めたりすることができる。土地利用と人間生活のかかわりを理解するとともに、同じ地域の新旧の地形図を比較することで、地域の変容を理解する。 <p>[主題図の作成]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の設定したテーマに沿って、土地利用図や階級区分図、図形表現図やイラストマップなどを作成することができる。 <p>[我が国の自然環境の特色と自然災害]</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の地形、気候の特色と過去に発生した主な自然災害について理解する。 <p>[自然災害と防災]</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活圏で過去に発生した自然災害の記録やハザードマップなどから、想定される自然災害について理解する。 <p>[課題解決のための地域調査]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域調査の基本的な方法や課題設定から発表までの流れを知る。 調査結果を図表や地図にまとめて表現する方法を知る。 	